

対象学年	中2	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	読むこと 詩 「見えないだけ」(教科書：光村図書 p.16~17)・「未来へ」(教科書：東京書籍 巻頭)				
課題	詩のイメージが伝わるような朗読のイメージ図を作ろう。				
課題の説明	○ 詩を音読して、 ・分かったこと ・気付いたこと ・思ったこと 自分が書いたノートの詩に書き込もう。				
解決のヒント	① ★1 で読んだ読み方を書き込んでみる。 例) 強く読むところは、 赤線一 、ゆっくり読むところは、 青線一 間を空けるところは、○を記入する など ② どんなイメージが伝わってきたか、書き込もう。 ③ 文や言葉の意味について書き込んでおく。 ※思いつくままに、自由に書き込んでみましょう。				
参考資料	教科書：光村図書 国語2 p.16~17 p.352-8 国語1 p.219~221 東京書籍 新編新しい国語2 巻頭				

対象学年	中2	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	読むこと 詩 「見えないだけ」(教科書：光村図書 p.16~17)・「未来へ」(教科書：東京書籍 巻頭)				
課題	表現技法を学ぼう。				
課題の説明	表現技法の種類について 1年生の教科書(光村図書 p.219~221、東京書籍 p.245~246)を参考にノートにまとめましょう。				
解決のヒント	① 教科書を読む。 ② 各教科書7つ(比喩を二つにわけると8つ)あります。 ③ 例文を読んで、それぞれの表現技法を知ります。 ④ ★2 で書いた詩の中で表現技法に当たるものを見つけて線を引いておこう。				
参考資料	教科書：光村図書 国語2 p.16~17 国語1 p.219~221 東京書籍 新編新しい国語2 巻頭 新編新しい国語1 p.219~221				

対象学年	中2	教科	国語	難易度	★★★★☆																												
単元	読むこと 詩 「見えないだけ」(教科書：光村図書 p.16~17)・「未来へ」(教科書：東京書籍 巻頭)																																
課題	詩のイメージが伝わるような朗読イメージ図を作ろう。																																
課題の説明	<p>① この詩を朗読して感じ取ったことを、イメージとして表現します。</p> <p>② 作成した「イメージ図」を、自分の言葉で説明し、詩の意味や作者の思いが伝わる朗読ができるようにします。※白い紙を用意し書いてもいいよ。</p>																																
解決のヒント	<p>① ノート(白い紙)に教科書の詩を描きます。</p> <p>意味や内容が分かるように書き方を工夫して「イメージ図」を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具は何を使ってもかまいません。例) 色鉛筆・筆ペン・割り箸ペン など ・罫線を気にしないでください。字の大きさや向きも書き方はすべて自由です。 ・斜めや逆さまに書いてもかまいません。 ・自由に思いつくままに工夫して自分のイメージを表現してみましょう。 ・美術の教科書を参考に、イメージを膨らませよう。 <p>(日本文化出版：美術 1 p. 36～「楽しく伝える文字のデザイン」 美術 2 p.12～「響き合う言葉と絵」)</p> <p>【ノートの書き方(例)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">あふれてゐる</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">あふれてゐる</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <small>小さな</small> 川々まで </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">春は</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">たつぷりと</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">春の河</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">① イメージ図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right; vertical-align: middle;">山村暮鳥</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">ゆつくり読む。</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">あふれている様子を 一音ずつ伝える。</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">「小さな」は小さく 読む。</td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">「た」をためて読む</td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">② 読み方</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">川の流れる表現するため。</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">あふれている様子を強調するため。</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">小さい川の様子を 伝わるようにする ため。</td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">河のたつぷりとしている 様子を伝える ため</td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">③ 理由</td> </tr> </table> <p>② イメージ図が完成したら、どのような読み方をするのか、説明文を書いてみよう。</p> <p>③ 最後に、「そのように表現した理由」、「そのように読む理由」を書きましょう。 (表現技法の種類について 教科書：光村図書 p.219~221、東京書籍 p.245~246 を参考にしましょう。)</p>					あふれてゐる	あふれてゐる	<small>小さな</small> 川々まで	春は	たつぷりと	春の河	① イメージ図						山村暮鳥		ゆつくり読む。	あふれている様子を 一音ずつ伝える。	「小さな」は小さく 読む。		「た」をためて読む		② 読み方	川の流れる表現するため。	あふれている様子を強調するため。	小さい川の様子を 伝わるようにする ため。		河のたつぷりとしている 様子を伝える ため		③ 理由
あふれてゐる	あふれてゐる	<small>小さな</small> 川々まで	春は	たつぷりと	春の河	① イメージ図																											
					山村暮鳥																												
ゆつくり読む。	あふれている様子を 一音ずつ伝える。	「小さな」は小さく 読む。		「た」をためて読む		② 読み方																											
川の流れる表現するため。	あふれている様子を強調するため。	小さい川の様子を 伝わるようにする ため。		河のたつぷりとしている 様子を伝える ため		③ 理由																											
参考資料	教科書：光村図書 国語 2 p.16~17 p.352-8 国語 1 p.219~221 東京書籍 新編新しい国語 2 巻頭 新編新しい国語 1 p.245~246 日本文化出版 美術 1 p.36~37 美術 2・3 上 p.12~13																																

対象学年	中2	教科	国語	難易度	★★★★
単元	読むこと 詩 「見えないだけ」(教科書：光村図書 p.16~17)・「未来へ」(教科書：東京書籍 巻頭)				
課題	今あなたが聞いている音楽の歌詞の言葉の意味を分析しよう。				
課題の説明	<p>自分が一番気に入った音楽を選んで、その歌詞の意味や作者が伝えたいメッセージを考えます。</p> <p>使用されている表現技法の効果や言葉の裏に隠された意味を考えてみます。</p> <p>①そのために、まず歌ってみます。</p> <p>②その後、歌詞をノートに書いてみます。</p> <p>③歌った時と、書いたときの違いをメモしておこう。</p> <p>④使用されている表現技法の効果や言葉の裏に隠された意味をノートにまとめます。</p>				
解決のヒント	<p>○ 一番気に入った歌詞を選んで、ノートに書き写そう。</p> <p>《隠された裏の意味を考える手順》</p> <p>a. 表現技法が使われている部分に線を引こう。 (表現技法の種類について 教科書：光村図書国語1 p.219~221、新編新しい国語1 p.245~246 を参考にしましょう。)</p> <p>b. 表現技法から受ける印象はどんなものでしょうか。</p> <p>c. 語句の意味を辞書で調べて確かめてみよう。</p> <p>d. その言葉があるのとないのでは、意味がどのように変わりますか。 例) 空の上には → 空には …新しい友だち → …新しい友達がいる</p> <p>e. A と B とでは意味がどのように変わりますか。 例) 眠っている → 寝ている</p> <p>f. どのような光景か思い浮かべてみよう。</p> <p>g. 作者がこの歌詞(詩)で伝えようとしていることはなにでしょう。</p> <p>【ノートの書き方(例)】「春の河」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right;">○隠された裏の意味を分析しよう</p> <p style="text-align: right;">☆選んだ詩(歌詞)</p> <p style="text-align: right;">春の河 山村暮鳥</p> <p style="text-align: right;">たつぷりと</p> <p style="text-align: right;">春は</p> <p style="text-align: right;">小さな川々まで</p> <p style="text-align: right;">あふれてゐる</p> <p style="text-align: right;">あふれてゐる</p> <p style="text-align: right;">この詩は、「反復」が使われている。春の雪解け水が大きな河から小さな川まで満たしている。その様子を「反復」で表現している。また、「たつぷりと」という言葉と「反復」(あふれてゐる)により、春の到来の喜びを表現していることがわかる。</p> </div>				
参考資料	教科書：光村図書 国語2 p.16~17 p.352-8 国語1 p.219~221 東京書籍 新編新しい国語2 巻頭 新編新しい国語1 p.245~246				